

17 幼小連携部会	部会テーマ	幼小の円滑な接続のために ～架け橋期の教育の充実を目指して～
内 容	令和5年2月に中教審架け橋特別委員会により審議まとめが出され、5歳児から小学校1年生までの2年間で「架け橋期」と称して焦点を当てている。この中で、より一層の幼児教育の充実と幼小の円滑な接続について、「架け橋期の教育の充実」が重要であると示している。本部会では、幼小の接続に係る行政、小学校、こども園の取組を紹介することで、架け橋期の教育の充実のために大切にしたいことについて考える機会とする。	
部会担当	天川 有紀(総合教育センター)	

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

説明

架け橋期の教育の充実を目指して

15時13分～15時19分

総合教育センター幼児教育部 天川 有紀

令和5年2月に中教審架け橋特別委員会から出された審議まとめを基に、子どもの発達の段階を見通した架け橋期の教育の目指す方向性について説明する。

発表①

那珂川町ハッピースロープランにおける「こ小連携」について

15時21分～15時41分

那珂川町教育委員会学校教育課 石川 佳広

那珂川町内の認定こども園から中学校までの12年間を見通して、一貫性のある効果的な支援等を目指す「那珂川町ハッピースロープラン」における認定こども園と小学校の連携の取組について紹介する。

幼小の円滑な接続のために

～相互理解から互いのカリキュラムを見直して～

15時43分～16時03分

那珂川町立馬頭小学校 細井 愛
那珂川町立ひばり認定こども園 高野 路康

幼小連携推進者養成研修を通して幼小の相互理解を深めたことを契機に、互いの教育の在り方について共に考えてきた。本発表では、町の幼小連携推進者として、これまでの幼小連携の取組の成果や課題を踏まえ、架け橋期の教育の充実に向けた実践を紹介する。

発表②

主体的に自己を発揮しながら学びに向かう子どもの育成

～幼小の接続と低学年における学級経営を中心として～

16時13分～16時33分

日光市立南原小学校 我妻 里恵

小学校入学当初の児童が、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうためには、幼児期の遊びを通して育まれた資質・能力を生かせるような環境や人間関係の構築を意識した学級経営が求められると考える。本発表では、幼小の円滑な接続について、小学校としてどのような指導・支援や関わりが重要かを中心に紹介する。

質疑等

16時35分～16時45分